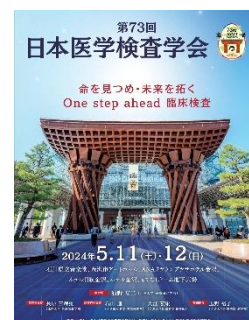


第73回日本医学検査学会に参加して

公立南砺中央病院 新保卓也

令和6年5月11日～12日に、石川県金沢市で開催された第73回日本医学検査学会に参加してきました。北陸では平成16年に富山市で開催されて以降20年ぶりであり、二日間で約3700人の参加者がありました。特別講演のうち一題は日臨技企画として、令和6年度能登半島地震における日臨技の初動や現地での活動報告がありました。私自身 DVT 検診に参加しており現地での活動の難しさを体験しており、日臨技として災害が発生してから災害対策本部が設置され、派遣が開始されるまでの流れや、全体の経過、派遣終了に至るまでの成果について知ることができ、とても勉強になりました。一般演題は561演題あり、特に生理機能検査の精度管理における実施の仕方やパニック値の再選考や報告の仕方について、参考になりました。



5月11日の夕方からは情報交換会が開催されました。会場内は、参加者同士が談笑し積極的に情報交換が行われました。和気あいあいとした雰囲気、石川県の日本酒がふるまわれ、多くの参加者がその味を堪能しました。特別企画として、伝統芸能である金沢芸妓による三味線の演奏と輪島の御陣乗太鼓が披露されました。金屏風を背景に黒留袖の芸妓さんがとても華やかで、一糸乱れぬ演奏に感動しました。また、御陣乗太鼓は、会場内に太鼓の振動が響き渡り、その迫力に圧倒されました。隣県でありながら、初めての体験で石川県の伝統芸能の豊かさを感じました。



5月23日～6月24日まで、オンデマンド配信が行われております。会場内で聞くことが出来なかった講演やシンポジウムがWebで視聴可能です。参加された方はもちろん、参加されていない方もぜひ登録して勉強し今後の糧としていきましょう！